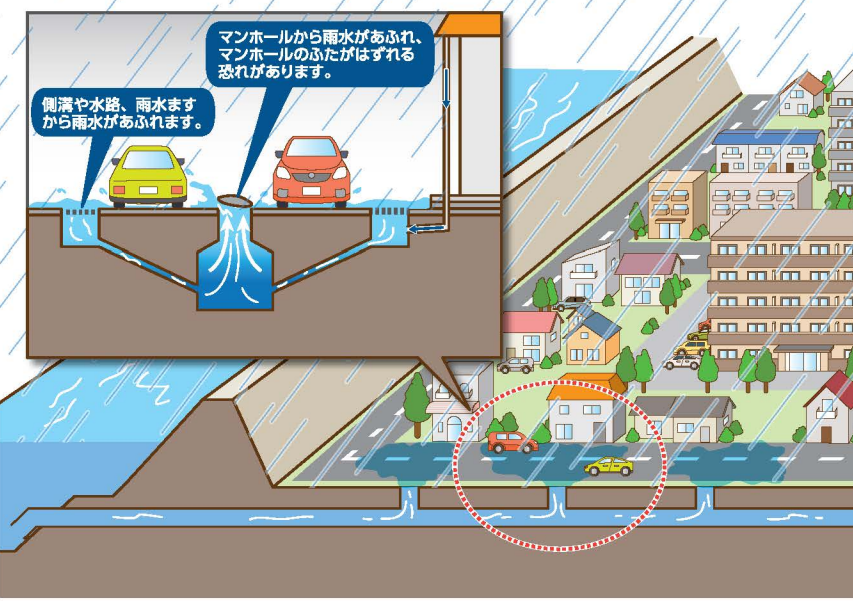


栄区内水ハザードマップ

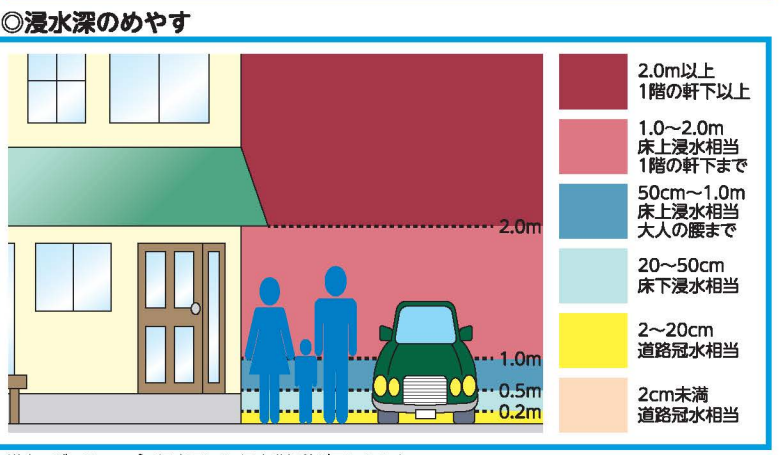
内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜環境創造局が作成したものです。
雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。

凡例 (Explanatory Notes)



※洪水ハザードマップの浸水深とは、浸水階級差が異なります。
○避難する際に注意する箇所

避難する際に注意する箇所	避難する際に注意する箇所
アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所 (進入すると危険なため、冠水の通行は控えてください)

河川、遊水池	都県界	高速道路・有料道路
市界	市界	主要道路
町界	町界	雨量観測所
JR線・駅	JR線・駅	水位観測所
私鉄線・駅	私鉄線・駅	河川監視カメラ
市営地下鉄線・駅	市営地下鉄線・駅	

歩道橋	避難を阻害する鉄道や高速道路、パイプのような構造物を横断するために有効な歩道橋や陸橋を記載
陸橋 (歩道あり)	

●想定条件●
1時間で
153mmの降雨
想定最大規模降雨

内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？
この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量153mmとしてしています。
なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



内水ハザードマップ全般に関するお問合せ先
横浜環境創造局下水道事業マネジメント課 671-2838

出典データ	横浜地形図製図部 図号 令3連部計第9005号 横浜環境創造局下水道事業マネジメント課 図号 令3連部計第18号 横浜環境創造局下水道事業マネジメント課 図号 令3連部計第18号
内水浸水想定区域	横浜環境創造局 栄区内水浸水想定区域 (令和3年4月)